

平成エンタープライズ

夜行バス乗客用待合室

ツアーバスを企画・運行する平成エンタープライズ（埼玉県富士見市、田倉豊弥社長）は夜行バスの利用者向けに無料待合室の設置に乗り出す。7月の東京を手始めに大阪、名古屋にも「VIPラウンジ」と呼ぶ待合室を設ける。東京、大阪などの大都市間を運行するツアーバスを中心に競合が激しさを増すなか、利用者向けサービス拡充で需要を獲得する。

東京に来月、大阪・名古屋にも 着替えや仮眠可能に

東京・新宿のVIPラウンジはバスの乗降場所から徒歩1分のオフィスビルに入り、営業時間は午前5〜9時、午後8〜11時45分。約120平方

メートルの室内には着替えや化粧のための専用スペースを設け、インターネットに常時接続するパソコンも置く。入室時にバスの予約票の提示を求める。

ツアーバスは専用の待合室を持つ運行会社が少なく、利用者は雨天時なども屋外で出発を待つ必要があった。VIPラウンジでは乗車の際の確認手続きも事前に受け付け

るため、利用者は出発時間の前まで滞在することが可能。早朝到着した後も着替えや化粧、仮眠や休憩ができる。

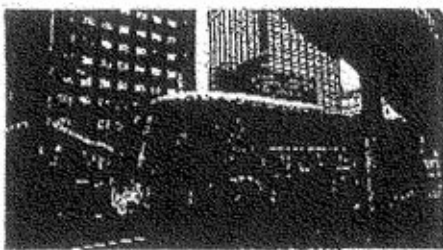
平成エンタープライズは現在、東京、大阪、名古屋の3都市間でツアーバスを運行している。大阪、名古屋でも1年以内をめどにVIPラウンジを開設する計画。今後、

ツアーバスを新たに運行する都市にはすべて無料待合室を設ける方針だ。大都市間を結ぶツアーバスを中心に新規の参入が相次ぎ、利用者の獲得

競争が過熱。料金の大幅な引き下げ、乗り心地を高めた高級シートへの導入など差異化を目指す動きが広がっている。ただ、

無料待合室はウィラー・トラベル（大阪市）が設置しているだけだった。

オフィスビルの空室率が高止まりしている現状はツアーバス各社にとっけて、都市部に待合室を確保する好機。平成エンタープライズが追随したことで無料待合室を設ける動きが広がりそうだ。



（東京・新宿区）